項目	名称	基準値(男性)	基準値(女性)	単位	検査の意味	高値(増加)疾患例	低値(減少)疾患例
白血球数	白血球数	3.3-8.6	3.3-8.6	×1000/μL	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。	細菌感染症、外傷、炎症性疾患、心筋梗塞、白血病 、骨髄増殖性疾患 (妊娠、ステロイドの服用、喫煙でも高くなる)	ウイルス感染症の初期、再生不良性貧血、薬剤の副作用
好中球分画	好中球数	38.5-80.5	38.5-80.5	%	〃	〃	〃
ヘモグロビン値	ヘモグロビン(血色素)値	13.7-16.8	11.6-14.8	g/dL	赤血球中で酸素の運搬を担うタンパク質の量です。貧血や多血症を推測することができます。	多血症(赤血球増加症) 運動後などの脱水	貧血、膠原病、感染症、妊娠後期
血小板数	血小板数	158-348	158-348	×1000/μL	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合にその原因を探索するための検査の一つです。	鉄欠乏性貧血、骨髄機能亢進	白血病、再生不良性貧血、薬剤による骨髄抑制、特発性血小板減少性紫斑病 、DIC
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、 旧GOT	13-30	13-30	U/L	肝臓、心臓等の障害の指標です。	心筋梗塞、急性肝炎、筋肉疾患、慢性肝炎	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ、 旧GPT	10-42	7-23	U/L	肝臓の障害の指標です。	急性肝炎、胆石症発作	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
γGTP	γグルタミルトランスペプチダーゼ	13-64	9-32	U/L	肝臓の解毒作用の関係する酵素です。肝臓や胆管からの十二指腸の至る道筋(胆道系)の指標となります。	アルコール性肝炎、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、胆道系疾患 ステロイドまたは抗てんかん薬を服用している場合	-
総ビリルビン	総ビリルビン	0.4-1.5	0.4-1.5	mg/dL	肝疾患の診断、黄疸の鑑別の指標です。	黄疸	小球性低色素性貧血
尿素窒素	尿素窒素(血清)	8-20	8-20	mg/dL	尿素窒素は、蛋白質が分解されてできる老廃物で、尿と一緒に排泄されます。血液中の尿素窒素により腎機能の指標となります。	急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、腎結石、腎腫瘍、脱水症、高熱、うっ血性心不全、尿路結石	尿崩症、肝不全、低蛋白食
血清クレアチニン	血清クレアチニン	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dL	腎機能・筋肉量の指標です。	急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、急性腎不全、慢性腎不全、脱水症、火傷、うっ血性心不全	筋ジストロフィー、尿崩症、妊娠初期
尿蛋白半定量	尿蛋白半定量	(-)	(-)		腎・泌尿器系疾患の早期発見や治療効果の指標です。血液疾患や尿路の障害でも増加することがあります。	腎障害	-
クレアチンキナーゼ	クレアチンキナーゼ (CK,CPK)	59-248	41-153	U/L	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。	急性心筋梗塞、横紋筋融解症、筋ジストロフィー、多発性筋炎、甲状腺機能低下症、脳出血、脳梗塞、薬剤性	甲状腺機能亢進症、妊娠
HbA1c(NGSP)	ヘモグロビン・エイワンシー国際標準値 (NGSP値)	4.9-6.0	4.9-6.0	%	血糖コントロールの指標です。	糖尿病	溶血性貧血
PT-INR	プロトロンビン時間(国際標準比)	0.85-1.25	0.85-1.25	INR	血液の凝固能を示す検査値です。	《延長》肝疾患、DIC(播種性血管内凝固症候群)、ビタミンK欠乏症、ワルファリン投与時、血液凝固因子欠損症	-
CRP	C反応性たんぱく	0-0.14	0-0.14	mg/dL	炎症や組織の障害の指標です。	高度(5+～6+) 細菌感染症、結核、慢性関節リウマチ、敗血症、悪性腫瘍 中等度(2+～4+) 多発性動脈炎、悪性リンパ腫、クローン病、心筋梗塞、外科手術 軽度(±～1+) ウイルス感染症、SLE、白血病、妊娠、貧血、気管支喘息	-
総コレステロール	総コレステロール	142-248	142-248	mg/dL	脂質異常の指標です。	高コレステロール血症 、家族性高コレステロール血症、続発性高コレステロール血症	αーリポ蛋白欠損症、二次性低コレステロール血症 (甲状腺機能亢進症、アジソン病 など)
Na	ナトリウム	138-145	138-145	mEq/L	細胞外液中で主体をなす陽イオンであり、水代謝異常の指標です。	脱水症	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群
K	カリウム	3.6-4.8	3.6-4.8	mEq/L	細胞内に多く含まれる陽イオンです。	腎不全、低アルドステロン症、溶血	アルドステロン症、ループ利尿剤等投与時
Ca	カルシウム	8.8-10.1	8.8-10.1	mg/dL	カルシウム代謝異常の指標です。	甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍、ビタミンD過剰	副甲状腺機能低下症、腎疾患、ビタミンD欠乏、ビスホスホネート製剤やデノスマブ投与時
アルブミン	アルブミン	4.1-5.1	4.1-5.1	g/dL	栄養状態や肝障害の指標です。	脱水症	ネフローゼ症候群、栄養失調、重症肝疾患
freeT3	遊離トリヨードサイロニン	2.24-3.94	2.24-3.94	pg/mL	甲状腺機能異常の指標です。	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症
freeT4	遊離サイロキシン	0.77-1.59	0.77-1.59	ng/dL	甲状腺機能異常の指標です。	甲状腺機能亢進症	甲状腺機能低下症
TSH	甲状腺ホルモン刺激ホルモン	0.34-4.22	0.34-4.22	μIU/mL	甲状腺機能異常の指標です。	原発性甲状腺機能低下症、クレチン症	甲状腺機能亢進症
尿酸	血清尿酸	3.7-7.8 (7.0)	2.6-5.5 (7.0)	mg/dL	核酸の構成成分であるプリン体の最終代謝物です。	痛風、高尿酸血症	腎性低尿酸血症
HBV-DNA	B型肝炎ウイルスDNA	(-)又は<2.1	(-)又は<2.1	logコピー/mL	B型肝炎ウイルス量の指標です。	B型肝炎	-